

あなたと 青山学院



地の塩、世の光
The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院スクール・モットー

35万人の卒業生と母校をつなぐ「絆」

July 2017 No.24

今号の聖句 いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。テサロニケの信徒への手紙 一 第5章 16-18節 前半

中等部 新「本校舎」が完成

2015年6月に始まった中等部新校舎建築工事の第I期工事が2017年2月に完了し、新たな中等部の器となる「本校舎」が完成しました。地上6階、地下1階で、3階からは口の字型の吹き抜けになっています。4月から新入生を迎え、すべての生徒たちが、新しい学び舎で学習・生活を始めました。

生徒の学習に対する能動的な意欲を芽生えさせる「教科センター方式」という新たな授業方式を取り入れ、すべての教科は「教科教室」に移動し、生徒が主体となって学ぶ環境を整えています。

1. 建築構想

2010年に建築準備委員会が発足し、他校などの調査を行うなかで、欧米において主流の「教科教室型」に着目し、さらに、そこに手が加えられた「教科センター方式」について1年以上の長い時間をかけて厳しい討議を重ねました。また、実際に「教科センター方式」を採用している他校を見学し、勉強会や研修会を行い、採用することになりました。従来の慣習にとらわれず、21世紀において青山学院中等部が挑戦していく姿勢を強く表した決断でした。

2. 教科センター方式と特色ある本校舎

従来はホームルームを基点とし、特別教科（理科、美術、音楽など）の時間だけその教室に移動していました。教科センター方式では、「ホームベース」と呼ぶクラス専用の居場所を基点に、英語、国語などのすべての教科の「教科教室」に移動します。この「移動する」という行為が、「授業に向かう」という学習に対する積極性・自主性を育成するのです。各教科の「教科教室」の側には「メディアスペース」が設けられ、その教科に関する展示物や書籍、生徒の作品や発表物などが飾られ、教科ごとに特色のある工夫が凝らされています。他学年の作品を見て刺激しあうことができます。

「学年ラウンジ」は、学年ごとに自由に使えるスペースで、話し合いや部の集まりなどさまざまな用途で使用されています。そのほかにも「ホール」「中庭」などがあり、開放的な空間が広がります。

とくに設計業界で「トイレデザインの神様」と呼ばれている方が設計したトイレは、「安らげる空間」をコンセプトに、階ごとに違う色を配し、生徒たちの心が休まる魅力的なスペースになっています。

3. 今後の予定

3月からII期工事が始まり、「礼拝堂」および「メディアセンター」の建築に着手し、2018年11月の完了を予定しています。「礼拝堂」は収容人数900名、2階建てで、パイプオルガンも設置されます。「メディアセンター」は、従来の図書室の機能にネットワーク機能を強化し、各教科のメディアスペースと接続し、「智の宝庫」の役割を担います。このII期工事で、現存の旧本校舎が取り壊されます。

III期工事は、2018年12月から2019年9月を予定し、東校舎を解体し、テニスコート3面を作り、すべての建築が完了となります。なお、南校舎は主に体育科専用の施設として、継続して使用します。

伝統を生かしながら新生していく中等部の試みは、日本の中等教育界を牽引していく学校として、大いに期待されます。皆さまの温かいご支援・ご声援をお願いします。



本校舎外観



数学科メディアスペース



玄関ホールの大階段



トイレ



中庭を望む休憩ラウンジ



英語科メディアスペース



開放的な教室

CONTENTS

学校法人	中等部 新「本校舎」が完成	1
学校法人	座談会／初等部創立80周年	2
学校法人	三大駅伝報告会・箱根駅伝祝勝会、聖句の解説	3
学校法人	トピックス	4
学校法人	青学ニュース	5
校友会	支部ニュース	6
校友会	部会・同窓会ニュース	7

校友会	アイビーグループニュース	10
校友会	あのことろ・そして・いま／大学教授 鷺津 名都江さん	12
学校法人	Useful Information	13
学校法人	青学探訪／青山学院「寮」の変遷	14
学校法人	青山学院からのお知らせとお願い	15
校友会	校友会本部ニュース	16